棚に蘇し

・リード氏は松平全 ・リード氏は松平全 ・リード氏は松平全

短期々限説と日米均衡

最近の

ロシ

ヤとフラン

昨日着哈の國際列車客の土産話

とも一九三六年末までとするこ。と指摘した。本言環に纏る條約の期間は長く 示すもので

即ちリード全権は係

本 の優勝を指摘すると共に一九三六本 の優勝を指摘すると共に一九三六本 年以後の事は更に會勝を開いて決定する事として米関原線の承認を 大めたものと眺せられる之に跳ら 下側にして十八隻の爛利を保有する以上何時ごが建浩を見るやも知れず結局日本は六朝を以つて甘んせねばならの事となるべて甘んせねばならの事となるべて甘んせればならの事となるべて甘んせればならの事となるべて甘んせればならの事となるべて甘んせればならの事となるべて甘んせればならの事となるべて甘んせればならの事となるべて甘んせればならの事となる。

日

本畵研究

洋畵家一木氏語る

反蔣派の中心人物

(中)李宗仁氏(下)摄單良氏

に滞在し多数の作品と 自傳達の研究に三ケを 自傳達の研究に三ケを

マスには洋当より日本書が非常 本書を研究する人があり、洋監 と日本書を通じ日佛の藝術的観 巻行はれてゐる

すれば寒間の除地あるものと信有せざるを原約其他の形式や明

六年までは断じて十五線

(日年土)

平に出で同地に大本管を置いて自

州に出馬西北取の栄配を緩るべしら山西軍を指揮し馮宝寺氏も水脈

張學良氏に加勢要求

「ロンドン二十七日愛電」アメリカ酸では二十七日全職全部の食品 リックホテルにて全職全部の食品 を開き日米交渉窓につき滋瀬を選っ を開き日米交渉窓につき滋瀬を選っ

地震と云ふ程度のものでもなく何の振いといったといってといってといってといってといってといって全線の等決定も見なかつたといって全線のであなく何を表現した。

し日本側では直ちに然って国答せしむる等で日本 で国答せしむる等で日本

「ロンドンニ

ード南全機會見につき若槻全機

若槻全權語る

財せられてるるが其内容は到 本の構足に近い程度のもので 中米園の原衆を幾分修正して 受認に導く一種の欄里的提索 ならずと信ぜられる而じて な

ロンドン二十七日漫電

るべしと見られる

私的意見

交換程度.

をなさなかつたと め我態度については何等

への範疇にて代穀の範疇あり遮雲で、日本としては要求の本質をかず、日本としては要求の本質をかず、日本としては要求の本質をかが、日本としては要求の本質をから、而して数字に関する限り日米

書 は和の私的會見は今後も頻々行 をわず日本 此種の私的會見は今後も頻々行 日限り北平 はれるはずである。然しアメリ のものを順から新提案をなしたと云ふ なつた

曾見 山兩氏

がもすると其憂言が、自國本位 に立たしめたい、尤も支援はゼ に立たしめたい、尤も支援はゼ

ては東洋の高め、

界の外交舞楽

るところあるは、何の信

提供して世界外交に活動する初との意志の交換こそ、日支変形との意志の交換こそ、日支

だが支那に一の無がある。 市の泊るや、数けし好無を数け 市の泊るや、数けし好無を数け の終対改計が選挙するも、訴訟 に端する南京政府の方便と観る に端する南京政府の方便と観る に端する南京政府の方便と観る に端する南京政府の方便と観る に端する南京政府の方便と観る

隔意無き意見を交換

與黨懇談會

してなければならい。

平素から日本と意志の交換

して十大職とはし一大職を十張編

徐世英氏は今回・

之を擴張

成と含す窓を張敏良長官に勉騰し

肺病肋膜に惱む方

これくらるは変那にも判って居

助職に続らず、着々推抄しつ」的との條約改訂変形は、支渉のめならずや、職者日本と南京政

版々來る七日午後六時より首相官 「東京二十八日發電」與漢幹部と 邸に開會特別議會に願む動策、 繁出身閣僚との懲談會は聽選事の と政府の連絡統一、黨內の総東、 繁出身閣僚との懲談會は聽選事の と政府の連絡統一、黨內の総東、 「東京二十八日發電」與漢幹部と 邸に開會特別議會に願む動策、黨

特色は洋栗の如く直接治療を目的とせず、先づ原中毒素の解滅、尿不死への道。の光明、不治と解せらるも肺結疾も、熱震は変が関かの患者に對する施養實験が関かに立證するのであります。「アピラ」は或る數種の豪草の調合被配に依る精代の微強ります。「アピラ」は或る數種の豪草の調合被配に依る精代の微強ります。「アピラ」は或る數種の豪草の調合被配に依る精代の微強したが、先づ原中毒素の解滅、尿に加ふるに、高貴素數種の豪心、利人の精質に最も適應せるものに関い加ふるに、高貴素數種の豪心、利力の精質に最も適應せるものに関いたが、大づ原中毒素の解滅、尿いたが、大力原体を関いた。

酸液を示し

示してたとてかひないこ

走

馬

そこを哀訴の場所と心得と

ありとか、そうなけにやならぬありとか、そうなけにやならぬでい、其政府を目標に、一途に定め、其政府を目標に、一途に定め、其政府を目標に、一途ににかって日支提標のことを全うし、緩いに対して、対域にあるとか、そうなけにやならぬが、

でのことなるが、其結果は如何と、変那に此癖だけは悪て欲しと、変那に此癖だけは悪て欲し

失業對策の

委員會を設置

內相、首相と懇談

海軍を有せ

東洋の爲め圓に日支掘郷が必要するともをなすべきでないか、

米新提案の

對策協議

会議を開き来國家及び之に動する が時が、京井崎全概も製まり全概 り時が、京井崎全概も製まり全概 り時が、京井崎全概も製まり全概 り時が、京井崎全では、で午餐を

日本全權集合

夢ろ吾が苦衷を**説い**

の主張を支持して、間接の後後の主張を支持して、間接の後後、になかが、東洋のほなので、若の意識に参加しなくとも、日本や意識に参加しなくとも、日本の主張を支持して、間接の後後

A電影司会に、脳玉浜、李宗仁、張康島三氏を職司会に抱除した て北方政府の準備に着手。するものと見られてゐる、俯顧艦蘭氏等西北戴將領は歐氏を修て北方政府の準備に着手。するものと見られてゐる、俯顧艦蘭氏等西北戴將領は歐氏を訪問して北平に出て近雍取事行態につき辞賦な打合せを行つたが、今明日中に兩氏相携へて北平に出て北平二十七日發電」太原來電に依れば馮玉縣氏は昨日建安村より太原に來り今朝鹽巖山氏を訪問し 副司令に張學良、 中に赴

汪氏に北上を督促 北平で各方面代表會議

『上華二十七日愛電』 職報に使れて一番の正米線氏に扱く北平に出で各方で大変の最高幹部會議を開き右會では目下南方に在る第二大中央の最高幹部會議を開き右會には目下南方に在る第二大中央の最高幹部會議を開き右會 山西軍主力部隊 青氏の手を經て汪光銘氏に其旨職 氏は右瓢電に挟するや直ちに朱潔 には右瓢電に挟するや直ちに朱潔 電せしめた

徐州方面へ出動開始 類配置より南大攻勢部置に轉じて 動を開始した、山西軍の行動は防

「南京二十七日要電」國民黨中央「常に凝しいされてゐる」

東北保境の意味で

違點緩和のため

ーの新數字提案

海騒に至る院備を影画にして境域を受固にする方針を収ることとなる機様で従来同方面に転防する子歌忠取以外に率天から若行の部脈を増進すべく都作業氏の砲兵一部脈を増進すべく都作業氏の砲兵一部脈

実施を含し之を設満 主網悪氏等の長老浦 主網悪氏等の長老浦

治的權力を観事す、本案は第三間民黨より除名し且つ一切の政制者なる事實なり、因つて彼を制を認め、という。 閻氏積極行動

今倘疑問 奉天派の観測

のと見られる

連出席して左の 三次全體會議 あず開く

十七日發電】第三次全體

当演風交回復案

徳州集中 雑色軍威壓の爲

機嫌変更び討伐令等を緊急上程直管。とは、大きなない。というでは、大きなない。というでは、大きなない。というでは、大きなないが、大きなない。というでは、大きなない。というでは、大きなない。 本は在来、短期設の反對であったが 奏来では之を一九三六年落とする は既定の事質とされ佛國もぶ之に 愛成で宋だ直接の討論には上らぬ が大勢は其遗に落ちつくは最早疑 倉職の進行が避いとの挑戦で英首相マクドナルドー 機で英首相マクドナルドー

何等か政治的に解決か

妥協は困難

席金曜をグロヴナーホテルに訪問を機と會見後、松平全職は岩槻主

方策につき協議する皆

後の會議の前途が急に ため會議を施

本大日英 行策を示したもので會議の前途に 一株全閣館 種々悲談誌を職へる向もあるやり たが之程の會議がさら早く響まる ものではない、ワシントン會議の ではない、ワシントン會議の がある 際も日、英、米間の私的會合は可 のではない、ワシントン会議の はい、アシントン会議の のではない、アシントン会議の のではない。アシントン会議の のではない。アシントン会議の のではない。アシントン会議の のではない。アシントン会議の のではない。アシントン会議の のではない。アシントン会議の のではない。アシントン会議の であるが米も結局は比島中立間

いった。 いのでは、 の地でも正式に持出すが何等かの政治 のではなか のではなか のではなか 関の主張に関する安徽も相當伝統

1ド、松平剛全欄間で何とか解 地な意見の交換が行はれた程度 である、今までのところ双方新 らしい段階にも入らず固より前 途に解決の見込みが溜いたなど メズム程度ではない、スチムツ アから何く言出してない 現勢變更を

伊は拒絕

日夜行にて來連して語る

の時期に於て之を提示する事とな 官相と倫見したが、信すべき筋よ ・イタリー全欄は二十七日マック ・イタリー全欄は二十七日マック 『ロンドン门十

質を變へぬ範圍で

首相と會見したが、信ずべき別より既知するところに依ればグ全権は支管相よりが、伊現有勢力の数は英官相よりが、伊現有勢力の数とを観視されては如何と掲載されたに黙し断然之を拒絶したと 南京移轉 キュバ公使館

といった意味の旨を語った模様で

小 觀

すること」なつてゐたが今回館人 「北平特電二十八日發」かれて職 のあつた北平のキュバ仝使館の南 のあった北平のキュバ仝使館の南 のものを拠へて附京に建くこと日限り北平を引揚げ事為其他一日限り北平を引揚げ事為其他一 **第**其他一切。 銀の暴落 は石炭はかりでなく各方蔵に影響してゐるやうだなく各方蔵に影響してゐるやうだなく各方蔵に影響してゐるやうだなく各方蔵は更に採炭の鄙限といってたことも対ならぬかと思ってたことも対ならぬかと思ってたことも対しても終しいことだが實にとなが實にあった、最近の活炭が緩緩 に上ってゐで而る極度に惡化しては少くとも一千五百名以上の多數

高を徹底的に歌歌する彼りである 神があゝした不祥事を憑起させぬ 神・保殿徹度を組織して彼等の歴 一次の新提案の数字を提示。 中選琴国態の観俗を得景数によ らしい小田原部定の まだり 人切り札までは前途遠遠

明なるのでは、中には一が近く出演、出家して原歌氏の菩提を

一萬九千三百名の投票者の生命 の見返に二萬圃の保証が行っの見返に二萬圃の保証が行っています。

ても高数影響は後等が登めた石炭 ても高数影響は後等が登めた石炭

部司令に推動。前**開台太政大臣よ** 席、閩南嶽が同時に襲撃良氏を

ある

製鋼所委員

大平副總裁訪問

だから影響の根絶は全く不可能でて影響を助長する随きさへある位である位

日(南の風)階後量 各地の温度 十一時 昨日の最低 十一時 昨日の最低 天氣紫報 仙石總裁から何等の通知にも接 ないが新義州設置ならば別で問 題もなからうけれど新義州が薄 題もなかのではなからうかと自 場であるため同問題が歩々しく いかないのではなからうかと自

妥 發 鉱

電療法教授

胎呈

に加ふるに、高貴美教職を添へ那人の帰質に最も適應せるものに舞い上げた機関であります。

「アピラ」は其論制である血液中の毒素を解釋浄化し、血行の蔓正と消化機能の調節作用を行ひ、何等の創作用も無く遵節の投棄と併用しても少しも隙りはありません。

「原で、の基調、「アピラ」は単に强批測として見るも、優秀なる質質と價値を有して居るとを服用者の多数より激賞されて居ります。

主 治 効 能 肺結核、肋膜炎、肺尖加答兒、氣管支炎

賣元 会政安 平

第六十一回 演師連成科五〇名 募集 毎月 開始の人を助け自己を助け着翠なる新職業 振替大阪八三二九八番電話東四一七二番

銀價暴落による

撫順炭礦の打撃

久保炭礦次長語る

大海 等母突出、電子の様に出

香葉が 太平堂脊髓

可谓 数 # . 里ろけ男所林実験

養鶏しく

昭和製鋼所州内設置期成同盟館委組の五氏は二十八日午前十時補機田の五氏は二十八日午前十時補機に大平職職裁を助財し州内へ設置を置く、製性、中央状態を動し、対方を置く、製作十一時状態表した。

能学一官夫妻。一木富相の大男科監束要 ・ 一本事官に、ロシャ大便能宮川顧顧

別驻露大使館飜譯官談

曹議期日は未定

露支

の食糧難

【奉天物館二十八日報】東

本件に関する重要協議と見られ、 ないが、今後起らんとする某重大 ないが、今後起らんとする某重大 たら及ぼさんとの意向を有してる にも及ぼさんとの意向を有してる にも及ぼさんとの意向を有してる 促って昨今大連檢察 の重點が置かれてある だ世間に知れざる軍大不正布される某ペ事件を初めと

左翼陣營に贈る

伮察局で重要協議

中間中であると 泥醉巡査の 大阪西成區で

かきの密採取取締 た

費 讀者四十錢

三十錢

滿洲日報販賣部

三月一日(夜間)二日(晝夜二囘)

沙河口劇場にて

第の管理収をなすものが選者した が、とれは元楽港販達成で船舶は が、とれは元楽港販達成で船舶は が、とれは元楽港販達成で船舶は が、とれば元楽港販達成で船舶は が、とれば元楽港販達成で船舶は が、とれば元楽港販達成で船舶は が、とれば元楽港販達成で船舶は が、とれば元楽港販達成で船舶は が、とれば元楽港販達成で船舶は が、とれば元楽港販達成で船舶は が、とれば元楽港販達成で船舶は が、とれば元楽港販達成で船舶が が、とれば元楽港販売では が、とれば元楽港販売では が、とれば元楽港販売では が、とれば元楽港販売では が、とれば元楽港販売では が、たれば元楽港販売では が、たれば元楽港販売では が、たれば元楽港販売では が、たれば元楽港販売では が、たれば元楽港でが が、たれば元楽港でが が、たれば元楽港でが が、たれば元楽港でが が、たれば元楽港でが が、たれば元本でが が、たれば元本でが が、たれば元本でが が、たれば元本でが が、たれば元本でが が、たれば元本でが が、たればたる が、たれがたる が、たる が が、たる が、た

今前た

西部大連讀者

慰安映畵大會

一六六朝水橋和へ酌婦キョ子こと 出島ロトエへのでは主津田を表は世 でる外出したまい障様セギ行方へ でる外出したまい障様セギ行方へ であり出したまい障様セギ行方へ

作品「死の北極探險」上映

・ 金本戦の概題となり実践成立した。 ・ 大山氏が左数戦が成立した。 ・ 大山氏が左数戦が成立した。 ・ 大山氏が左数戦がに関る最後の ・ 大山氏が左数域がある。

投煙から寺見霧海岸一種にかけ吐

算術と地理 關東州內中等學校の

人生苦の述べしいステップに外な過を申立てるところによると哀れ

でも一度染んだ悪の手細工が漬け更に酶を越えて朝鮮に出た、此處

書換ヲ停止ス

靈取扱

を自然自事に除らしめ大阪市家の、世の不景源は何時の間にかれ、世の不景源は何時の間にかない、同人は小學校を出ると間

輕くて着よいモ

スリンの

お召物

で続き大阪に行つ

入學試驗科目

日には必要と聴むる者に難し口頭飲間を行ふことになってゐる た、無熱臓眠に難しては第一日の午前中に身體競者を行ひ、第二「緊觸」「地理」の三純目に決定し、二十八日午後二時要表され純目は修外、國語、緊腰、地理、瞪史、理純の うち捕鯨により行び、第二日は身體検査を行ふことになつてゐる、なほ試験の要 前中は懸稀総響時間、午後は必要と認むる者に動して口頭時間をされるが、大連中間の受敵人鼠は合訛三百六十名で、第一日の午醫東州內中壁校の入壁時職は一、二の剛日に宜り旅大一齊に施行

つた補酬における酸事件を摘要 作長官によつて手がつけられな

内容領がみたぎつてるる

『第二の山宣』大山郁夫氏が

き魅か

二萬圓の生命保險に



夫の自殺も知らず

日痴の女房飲酒して氣焰

止式に起訴する

遅くも三月二日迄に

選くも三月三日までに正式起訴の手賀を完了することとなった。 したので、天皇陛下の選挙を御待ちして直ちに上奏御裁可を呼ぎ 低本联合議員二名等の取調べが二十七日全部完了し調書一號完備。 「東京二十八日登電」小総前文相の起訴はその後隣係某々代職士 から早くも一ヶ年にならんとして あるが「第二の山宣を勝たせろ」 の職と共に總護事職に打つて出て の職と共に總護事職に打つて出て を計長大山等大」氏は、近ける山 が動めもあつてこのほど明治生命保 があると、では、近ける山 は、近ける山 會中、前田の被館で兇烈に避れて 議士山本室治氏が昨年三月五日議 で、前田の被館で兇烈に避れて

悲境の漁業組合

金融機關を組織の計畫 通して質ひ金融機關を作らんとし関東職より四、五萬國の資金を確 てゐるが、一方内地から出稿ぎに

近く出獄する

気に無づき貼つけて見るとこの始に、解死は選に緩命して終った。に、解死は選に緩命して終つた、に、解死は選に緩命して終つた、 つた目が書きつけてあった

福利の ため一隻の最新能 に水蔵倉が州内の漁業者の に水蔵倉が州内の漁業者の

の如く不默無ではそれすら補足に 大事になつてゐる。しかるに今日 大事になつてゐる。しかるに今日 は一句を書いて排艮

駅氏を確し目下宮城形務所に服役 理屋「辨職」こと郷田築吉氏を訪 東館二十八日葵電】時の宰相原 見てゐる義侠の人函館市根風町料

合委説書と

東 中の中間及一が近く出

近く出意するとの

「低下けたが、その総額が

印度で佛教を研究し

艮

原敬氏の菩提を弔ふ

船をホテ

來てゐる發動汽船を

終ったこと等につき浮世が脈にな 長男談利CUが影響に身を持ち脳 長男義利でごが激調に身を持ち崩り に整つた要トメが白痴であること

争件に絡んだ

日五节日

士召喚の成行注目さる

五品 某代議

総治中の船に沿り込んで勢姿を日 内野、植愁解巡査の手で折榜サ七 都バース緊留中の第八乾坤丸蛇夫 金一萬園 を支出させたといふ點を明かにすべく椒繁局ではいふ點を明かにすべく椒繁局ではいるから概率を理由に今日まで出頭をあるから概率を理由に今日まで出頭を明からである。 告げんとしてるるが、未だ世間の 選士某氏の身連にかけられた疑惑 である、即ち既報の如く原田氏か である、即ち既報の如く原田氏か 常行んとしてゐるが、未だ世間の「宮の令狀を執行されぬとも限らぬ」 を不起訴處分に附し表面大應關を を不起訴處分に附し表面大應關を を不起訴處分に附し表面大應關を を不起訴處分に附し表面大應關を を不起訴處分に附し表面大應關を を不起訴處分に附し表面大應關を を不起訴處分に附し表面大應關を をで名喚に應ぜさる時は養護判 原田氏一味の五品事件は旣報の如一接原調を是非必要とし、二十七日來 ののの一方法で召喚に應ぜさる時は養護判 ので、た情報である。而して某氏がどこ 金二萬園を支

罪を重ねた男

大阪での盗みの皮切りから

大連で捕はるまで

配して製氏出頭の上、機違の別にあり るものと見られてゐるでは某で代議士及び當地の知 きくも嬉

百

なんとなく別れ惜まれ

たい

日支親善の美談

奇特な華人家主

毎夜毎に行ってゐた一怪日本人が

廿八日午前一時ごろ水上墨熊僧係一部に無腕で侵入就駐中のところを

プラグの運び力なし

のす親しんだ機械ご袂を別つ

満鐵の電話交換姫

日支観書美蔵一ツーー市内製造業 四十七番地居住の無駄上端園太郎 にのため家に健された妻、ほか子供 四名はその日の交食にも動し、昨年来の城乗のため目下 四名はその日の交食にも動し、昨年来の城乗のため目下 四名はその日の交食にも動し、昨年来の城乗のため目下 は、昨年来の城乗のため目下 は、昨年来の城乗のため目下 は、昨年来の城乗のため目下 は、市年来の城乗のため目下 は、市年来の城乗のため目下 は、市年来の城乗のため目下 は、市年来の城乗のため目下 は、市年来の城乗のため目下 は、市年来の城乗のため目下 は、市年来の城乗のため目下 は、市年来の城乗のため目下 は、市年来の城乗のため目下 は、市場し、昨年来の城乗のため目下

「は大いに同懐し同人等が今後同家では大いに同懐し同人等が今後同家

同家の釈視をつげたところ、范に現在の健家薬池清橋氏に現在の

"(南京教仪野客三维)

の収締職員一名、準職員三名、交がため今日まで働いてみた交換額

へ二名、國際運輸へ一名、本社へ とてお別れしなければならない、

とる手も力なく「私共は既

支掘に原し右の旨を要より主場行員人等の居住してゐる家屋の家實」

氏の行為に難し常

秋酒を 受ける等各方面

いよく、三月一日午後十一時より 徹で継順中であつた浦鎌の電話も

いたレシーバーをつらい思ひで外 一千 個 に上る者も数人あおいたレシーバーをつらい思ひで外 可成り多く、始與額 可成り多く、始與額 可成り多く、始與額

五

召喚に

應ぜねば

ツに附近の人が發見し大騒ぎ

の抱黙技女月との間に切るに切らった、そして廣島郷町第三勝戦響の香なまめかしい女のやわ眺であ 大連市署高・、大連市署高・、 隔大島紬商會 連市署島町三ノ九〇

のとき彼は天才的な特益策を再びがんじがらめにしてしまった、そ 情熱の 網がしつかりおば

御節句用

林洋行獨特の優美なる

おひな菓子が揃

初節句内祝用として至極恰好のものも御座います今年は特に目新しい容器の敷々が出來ました

疑い

正しく

明るき氣分に満ちる

中商店

(三月)一日・二日・三日・



あでありまして清新らしい傾向として

宁春御入學のお坊ちやんやお嬢ちやん方に御入用なる 文房具、参考書、通學服、靴、鞄、などを取り揃へて 春向訪問服陳列

春向ネ 日よ

春の簡易婚禮本裳賣出 ◇柄は斬新。品は潤沢。 安S御値段 ii n

セール、帶地、春銘仙、春モス等訪問着、繪羽織、大島絣、無地金波 煙を添へる・ 1 G 14

春服飾界に光

通山大

84 S

モス別染

◎此の安心な破格品は驚く程お安い値段でお手に這入ります大安寶の蕭尺地は極一本染の優良品で御座います 心 高屋 モ

延便で多大な人気を呼んで居る監 が」「かしわのすき機」等安僧と が」「かしわのすき機」等安僧と いろはの一品料理 會 大小人共 四十錢

部通いろは本店では時間代 無の出題り排となったので特に生。 無の出題り排となったので特に生。 無の出題り排となったので特に生。 品料理を精樸して思ひ切った勉励が都のサシミや其他解系の手順な一 生花

葬儀 被圓明

尾

大連市 か

後援 主催 協和會館で 員俱樂部院

大連高等音樂院舞踊 踊科第三 同 公 演 一 時 、 七 時 一 回

松竹ファン氣質

(-)

どに勝ちりついたりなさいます。

れ、『時に記れているかない。

記し、一

十時前後喫茶店の風景

津多

皓三

更にお目出度いかたになると、 その夜の頻繁の餘勢か、酸ひはア ルコールの力か、 一難やかな灯影のもと 苦憫を知らぬげなご女も…… また人の子……

った置據書類を淡水せられるやうなもの、女房の手前……」とアルコールの階級話ふく交服なさる神士を御見受けする時苦美熱なものがあり、更に開しさにさへ即きこまれる。

「あっ、放して下さい、あっ放しさいて下され」

脱めて見たい――これは描いて

ては最も使しいものであります。

なマシゾーニでも取って限っ子 をはに映鑑見物にいらつした若い更 を 様があるとなさい。

また人の子…… 運命の命ずる刑多き人生に…… をんの喘米に大砂蛇の…… 掘し い方塗の蒸を見受ける。加ふるに ツヤズの或ひは三味線入りのイン

お客様に連れられた姐さん達が とや否や長二郎のために紅の気焰 を上ぐる風景は触り種らしくない を上でる風景は触り種らしくない

ていたは申しませんわ、でもある臭味のない微校には経恵が持て る臭味のない微校には経恵が持て ありませんか。でもあ

標ではあるが、熱心に機能に関

魔動を語るインテリをこの風景に はあつたが、最近観動した城南映 されは私の最も感銘深い一緒で を動いて紅茶を動り乍ら最高を

めとは申したものム……終香どのを養みし、離玉の正義に発するたを養みし、離玉の正義に発するた

「炒香どの、炒香どの」 を博し連目補鼠の経況を基してる「炒香どの、炒香どの」 を博し連目補鼠の経況を基してるが、本心既資部にては西部大連右近は急いで得手洗しへ脳つけ るが、本心既資部にては西部大連をがその時である。

っとふりはなつてとびのいた

映畵。死の北極探險』

映畵。死の北極探險」

くである

研聲會番組

讀者優待割引券

演藝館、沙河口劇場

主催 滿洲日報販賣部

讀者優待割引券

#確 滿洲日報販賣部 演藝館、沙河口劇場

街CIID

附ちにかけたとしたならどうなさとも兄左近がそれがしをばだまし

河

太郎畫

(87)

「妙香どの、それがしの言葉を、 ならまでお信じ下さらぬのか?」 お近の言葉には、異様な殺氣を さへも帯びて来た。 信じます。でも左近線の御安否が「信じます、あなた様のお言葉は

「右近様、そ、そりや真實でどざ

左近線をお討ちなされ

解散をめぐる階をめざして一般にとりあげた柄杓をパッとすて、

五三郎奴までが

あまりの言葉に炒香は泉はとし

「お姉上様、お姉上様」「お女は話打をしたった」とも、永瀬のばかりか、岩様の

受。江戸に留まると申しおりまして确案であるな、兄左近は無事品 た。二年三年、到底醫療はいたし災、江戸に留まると申しおりまし ゆ香の職には疑惑の色がふかま 右近は酸をそむけた。 小佛館でだまし討ちにかけたので 「そ、そんなことは御座いませ

のなり

四部讀者の

る兄左近は 生 死の 壁も知れ申さ る兄左近は 生 死の 壁も知れ申さ あつたればこそ、そこで鶯の離た あつたればこそ、そこで鶯の離た

これは異なこと

何故とは

石近は態とらしく 冷笑を見せ

な、何故でございませら?」

で会小野校を温吹する等金大球戦を温吹する等金大球戦を温吹する等金大球戦がありたまた。 大田 に 三リー で会はよりとめえたも選が 一、二日に 三リー で会はようとの表たも選が 一、二日に 三リー 大田 はまる 世四日より演繹館に及て開発はサッと館を確らませると はまる 世四日より演繹館に及て開発しまる はまる 世四日より演繹館に及て開発を はまる 世四日より演繹館に及て開発を はまる 世四日より演繹館に及て開発を はまる 世四日より演繹館に及て開発を はまる 世四日より演繹館に及て開発を はまる 世界・世界・世界・大連襲撃動の複響 なり

がを強くの分となったも、いったのから、

身となつたる、いはば、

がなってはサ

香はうつむいて身をふるわせ

でござったし

なつた 演響館同様に優特側引することに 結械一朗、田中絹代、龍田靜技助演【次週帝國館上映】 1ツマンシップを巧みに織り交ぜた青春謡歌館、鈴木庫 ◇鐵拳制裁 ◇ た野村員産の

○ 千隆(糸吉四郎)

舞踊童謠 大會開催 日協和會館

大連高等電影院主催大連鴻鐵社員大連高等電影院主催大連鴻鏡社員大連高等電影院主催大連鴻鏡社員

の夜まわり」が期待されてゐる 出演者は何れも同學院舞踊科の 出演者は何れも同學院舞踊科の 生徒で稻垣、尾錦、西園の諸鎮 生徒で稻垣、尾錦、西園の諸鎮 年子「東の「子の鳴る方へ」。 野子兩編の「子の鳴る方へ」。 野子兩編の「子の鳴る方へ」。 野子兩編の「子の鳴る方へ」。 野子兩編の「子の鳴る方へ」。 野子兩編の「子の鳴る方へ」。 大 然と引換へられたいと が説と引換へられたいと 無事に関って来たが 無事に関って来たが 「蒙古人に

開催するが、剛夜の徹底は左の如後、時より遊業館に於て第二回を 死にかいつた」と物様な口動を洩と言いことを眺めて知つた。 なと言いことを眺めて知つた。 なと言いことを眺めて知つた。 なと言いことを眺めて知つた。 なまで眠ったら、そのまゝ死口ので眺りかけると誤古人が観視して元気をつけて異れるのさ」。 これが蒙古教脈の園資深逃だと妙めな場で破場る本ゆふべ大日活で發 「悪口が身上だい」 「悪口が身上だい」 和ばれた連中類りに感心し乍ら悪地ばれた連中類りに感心し乍ら悪いない。 「假名屋小梅」の試験的の





葉林

人生

ジュの名女

を萬天下に問

な死の魔族! (本)宇宙の北の最 (本)宇宙の北の最 (本)・宇宙の北の最

サる我豆豪の陣

特別大興行

を表表されて思るな器を、自分表されて思るな器を、自分表されて思るな器を、自分表で、力能所に窓を制度に関係へ厳密的に選があり、十二分に筋肉を製造されて思るな器を、自分表表の、十二分に筋肉を製造されている。 ● 発えず驚嘆の撃なるが勝時に感さないいない い一生の大道となるから直ちに い一生の大道となるから直ちに い一生の大道となるから直ちに い一生の大道となるから直ちに い一生の大道となるから直ちに

常 密 座

生人

限四日間

花岡菊子珍族 二十七日ヨリ大公開 登はは相関らず間下貳拾錢です 登べたるこのギャストー 河合特作 丘虹二作品 ペネオストー 幡隨院長兵衛

松尾文人主演

骨・後藤佐山●撮影・藤井春美大利根の殺陣 速館

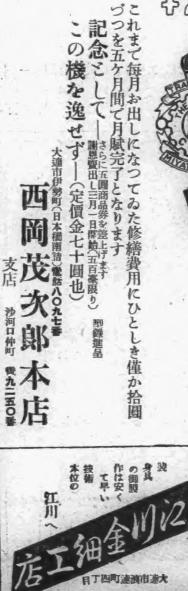
> 理店 **養元「大阪サンタル商行」**

外の薬で治らぬ



作業服なら AUT WORLD 村田東京堂内縣人一三人





の機を逸せずー(京

(定價金七十圓也) 型鉄進品関商品券を登上げます

とても 連鎖 ハイシイお菓子 お菓子

第十 異

周年記念特別月賦賣出

一ケ年間修繕無要

電道鎖店のお菓 喫茶部で召上を で記しました。 物名和シ連 来子』で珍らしがられます。 電の工場でこしらへて出來立を差上ます

ミスター号

¥20

3 Ēľ

大連市監部通二丁品

馬空を









はに

クキに謙思不

限。

上豆粕の製造後經過日数の出手加減

の際に於ける確査品

人絹界

イツの

在伯林 塚本生

在銀高増加

大選港を中心とする二月中の海運大選港を中心とする二月中の海運大選港を中心とする二月中の海運をなく、定期船腹の推進は着人と大静緩しつよる荷動きは前月と大きなく、定期船腹の推住殆んど失政的大型船腹の推住殆んど失政的大型船腹の推住殆んど失政的大型船腹の推住殆んど失政的大型船腹の推住殆んど失政的大型船腹の推住者んど失政的大型船腹の推住者人ど失政に高いてある。前十二、三歩にても更に商談なく、中旬以後に於て、荷主、船主唱位十二、三歩にても更に商談なく、中旬以後に於て、荷主、船主唱位十二、三歩にて、荷主、船

地票續落

中旬末現在

穀物在貨東支呼海線

1、大公司

00年,近1000年

銀價 氏國政府が放棄 成りゆきに任せる 維持策

過した財政部長宋子文氏の談に上海特電二十八日程』南京より 宋子文財政部長談

中村徳泰専務語る し族伝主義を取る旨領表した。

超入出

関ですから、支那のみが維持策 なことでせう、支那は銀の需用 なことでせう、支那は銀の需用 なことでせう、支那は銀の需用 なことでせう、支那は銀の需用 なことでせう、支那は銀の需用 なことではう、支那は銀の需用 なことではう、支那は銀の需用 本にはいる。 にこれを銀行の像有別に見れば左 は語る の如し 本に、次 三二二十四日 賠償範圍擴大

荷主側に有利 の歌可を申離中であるが談改正は を開発しているのでは であるが談改正は の歌句を申離中であるが談改正は の歌句を申離中であるが談改正は 第

前二項の規定は不可抗力其の他 ・第三條 規定の供置 選貨、料金その他運送に関する 選貨、料金その他運送に関する

對歐極度に不振

近海は不況ながら保合 二月中の海運界 出を見てゐる

出を見てゐる

出を見てゐる

出を見てゐる

出を見てゐる

出を見てゐる

大市況 月初までは順調であったが例年の對米輸出一服であったが例年の對米輸出一服であったが例年の對米輸出一服が設に陷る三月を控へ、中旬以後は殆ど新商談なく、市況極めなけ殆ど前月と大差なく太平準岸豆粕、雑穀二沸七十五仙、現地であったが例年の對米輸出一服が設に陥る三月を控へ、中旬以下の大きなく大手を持った。 十一日より八百車に載じ三月 日より六百七十車の激減を實施 すること、なつた、八百車が六 百七十車(百三十車域)に減ず ることによつて鐵道收入の上か ら見ても一日三萬一千圓減を免 模様である

四、疾病、酪酢その他の事由に因四、疾病、酪酢その他の事由に因此、疾病、酪酢その他の事由に因素が自動を表現、小荷物及貨物(以下運送品とない。 一般をおりが運送るとき ざる事由に因り運送に支障ある、不可抗力その他日むことを得

で、選送品の性質、重量、長さ、 で利文は荷造が選送に適せず又 は他に危害又は損害を及ぼす違 あるとき 對消費組合 はざる場合には選送の申込を
社は貨物を直に發送すること

第十小商人の紫蔣鐵道常物組合間 「本の郡氏が出席の害 小松圓吉、小田城、佐藤豐、竹 小松圓吉、小田城、佐藤豐、竹 小松圓吉、小田城、佐藤豐、竹 實業聯盟出席者

全滿協議會

0

◆定期取引、(單位銀) ◆定期取引、(單位銀) 等付高值安值大引 組來高期近五百三十七萬國 ◆現物取引、(單位銀) ◆現物取引、(單位銀) ◆現物取引、(單位銀) ◆現物取引、(單位銀) 中一時 炎過 (1201 15元) 十一時 炎過 (1201 15元)

替相場(町代)

0

制度の沿革 ◆…一九二九年に入るや外國の安 ・…一九二九年に入るや外國の安 ・、同年一月より十一月遠に於 ける外國レーヨン工業は ・、同年一月より十一月遠に於 ける外國レーヨンのドイツ線入 高は既に入百五十萬キログラロ 本に上つてゐるその爲レーョン の値段を署しく下落せしめたの みならずドイツ製品の費れ行を ならから、最近ドイツのレーョンエ

豆粕混保制度の 動機および創設

品 總混合保管の完成 の 城の如くして決戦的に開始された の 城の如くして決戦的に開始された の 城の如くして決戦的に開始された で あ豆粕混合保管脈は、 常時は御託 はっるに至らざりしも、 首唱者たる

0

なきかったきかった。 は石総裁は大連徳とない。 に撃げ楽観す、その大 に撃げ楽観す、その大 を対ながら字間にない。 は後に戦抗せんとする。

登録

亞鉛引浪板 牌子鄉球地 所張出店支

大天錦長哈奉 阪 市津縣春賓天

電信、電話用機械及各種材料銀貨 築 材 料 及 耐 火 煉 瓦亞鉛引針金、平浪板、釘、鉱力板亚鉛引針金、平浪板、釘、鉱力板面。 以 棒、管、線、燒、銅

-MODIN

花小內 柳兒 树科科 光神和思伊町龍車編角

樂しい遊び場所です

Z

第世

月月月 前場密 前

前場

三三八八八九八九八九八九八九八九八九八

しても従来の不便不利が一掃され

四月下旬我開對外貿易は(單位千二月下旬我開對外貿易は(單位千 人超ー壬三百萬 一二、二〇五 一二、二〇五 一二、二四二六 立、
 立、

 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、

 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、

 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、

 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、

 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、

 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、
 立、

 立、
 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

 立、

を要せざる支拂 荷物に對する運

、るを拒

氏の風俗に違反するが法令の規定、公の 正が後令又は會社

内地向も悲觀南支販路杜絕

振順数の更行は銀安のため依然 無順数の更行は銀安のため依然 を出現し山元の出始も探謝に数する を出現し山元の出始も探謝に数する の絵書なきに至つてゐるが輸送 の絵書なきに至つてゐるが輸送。

一月末日限り

これを前期に比すと、賈賞總 高は二千七百一車、受獲高は二十七百一車、受獲高は二十六銭高であった、と 段は三十六銭高であった、党 段は三十六銭高であった、党 であった、主なる手口 なば左の如し、単位車) せば左の如し、単位車) せば左の如し、単位車) せば左の如し、単位車) をは三十六銭高であった、党 であった、主なる手口 は左の如し、単位車) であった、当 一三、協和様五三、裕昌派 一三、協和様五三、裕昌派 一三、協和様五三、、一三、 西比利五四、瓜谷三〇、三 西比利五四、瓜谷三〇、三 一三、 間百昌一二、文成帖 子記一一、豐年五七一、三二 七

正二九五百箱<二七五百箱 二七七五千枚<三一〇千枚 二七七五千枚<三一〇千枚 二七七五千枚<三一〇千枚

公言

旅溫)

ラ原局

左の通りである(單位百分 獨逸對外貿品

沢

前 元元 司 引

神戸豆粕

表に、貨物の運送は

である(單位百萬ライヒスマル) (職入 二五 二二 (職人 二五 二二 一 月 昨年同期 更に命銀塊の輸出入額は左の通り

當市も弱含



具院に對しても

公明を望む

對研究會諒解運動に

高き反對の叫び

根本方針と定む

政策本位を 理化實行機關は商工省

局に顧問数名を置く(動

合理局長官は商相之に當る が、之に點し交友俱樂部、公正會 名解は目下の臨産業合理局と 指待し種々懸談し十一時散會した 経験、人條、前田氏等の首腦部を が、之に點し変友俱樂部、公正會 が、之に點し交友俱樂部、公正會 が、之に點し交友俱樂部、公正會 が、之に點し交友俱樂部、公正會 投票敷から観た

省戦保局にて調査中であったが、「野駅野」……「大日韓電」今回の整理」他三分一厘と云ふ館合にて民政・選に於ける各派の得頭は其後内務」の大勝を加賀に物語つてゐる、「東京二十八日韓電」今回の整理」他三分一厘と云ふ館合にて民政 十七日左の如く殷表された有効。 黑 五、四六七、六五〇票

を決定したが之に難し野鷹政友會 と徐ろに應度を決定するも遅く日の閣議にて特別議會提出の翻案 曾としては先づ政府の提案を見、東京二十八日發電 政府は廿八 家をなすやも不明であるから政

還幸啓

産業合理化の機關 られる大體の内容

部を 院職領は却つて注目すべ した 招楽して楽たと解せらる

民政黨の大勝を裏書

的の慣例を作つて

委員會組織 失業對策

より所要概要を特別議會に扱いしたする失業財策委員會は内心とする失業財策委員會は内

『東京廿八日憂電』政府は失寒間 『東京廿八日憂電』政府は失寒間 『東京廿八日憂電』政府は失寒間 『大き失寒難策秀賞・高らたに影響さる。 「大き失寒難策秀賞・高にで表する失寒保險にで先づ暫定的悪策をして内容省社 で先づ暫定的悪策として内容省社 で先づ暫定的悪策として内容省社 で先づ暫定的悪策として内容省社 で先づ暫定的悪策として内容省社 で先づ暫定的悪策として内容省社 を新案をたて次の通常調査といて實施せしめ、之れに素 の関係から早急に遭退し得ないの 書台が、 同は衰は同じく次の通常 する一定の補助金を交附するので をお求をたて次の通常調査に提出 まるが、同は衰は同じく次の通常 なるが、同は衰は同じく次の通常 をお求をたて次の通常書館に提出 をお述しまるべき失斃救済事業 記述とも開戦せしめ、原脈として保 総給付は現品を以てせず官公院失 として保

行機を動きる。

注意せる

上京委員の

製鋼所根本問題の

關係首腦者協議會

衆る八日拓相官邸にて

任期も野迫したのでそれまでに何 関歌は總選撃も済み傾石總裁の 日 連日の努力

團匪賠償金で

特殊銀行を設立

南京政府商工部計

國際決濟銀行總裁

十七日酸電』タルジュ

と見られてゐる

「ハルビン特電二十八日数」南京 政府から、最近日本には補歌の組 地に調査が行はれ満洲を併合せん とする計画あれば地方官歌は日本 とする計画あれば地方官歌は日本

州内上京委員から

以外 市木細工の小會派 で許されぬ

本 會議

目における發言」

小會派

委員會

を高めたものと如くででは政府の斯る征度に

時別歌館 五、六月電電現を期する等である。特別歌館 五、六月電電現を期けるのが、其構成は首相を含長とし内積では時代館 より原識を観める人を全域とし更に民間である。政府機 かった 一、總務部(失業関節の根本方策を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する。

「空用部(企業の関節の根本方策を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する)を研究する。

「空用部(企業の関節、職業紹介機関の解析・一等の審査)を研究する。

「空用部(企業の関節、職業紹介機関の解析・一等の審査)を研究する。

「空用部(企業の関節、職業紹介機関の解析・一等の審査)を研究する。

昭和五年三月一日

以テ倉棚トナスへキコトラ命 以テ倉棚トナスへキコトラ命 物凄い検擧振り 既に罰金處分百七十名に 全國一の鳥取縣下

特別議會に提出する

州の諸議案決定す

定例閣議に

の開議で意見の交換の結果

議會召集の詔書 けふ官報を以て公布

濱口首相靜養

聯盟規約の 十三條を削除 右黨革命 イツに

投資困難 道に入電があった ッに右航の革命別級したと東支銀「ドイー・「ハルビン特徴二十八日酸」ドイ

は本一年では、 一年年大月東京新版の所報によれば近十六日東京新版の所報によれば近一年本大月現銀道部長孫科氏がベールリンに於て當時のドイツ散報。 高部長現外交部長との間に直接談 のであるがより、機会であると 現は不可能らしい機械であると 現は不可能らしい機械であると り禮狀松岡代議士よ

國營失業保險制

暫定的對策を樹て」

次の通常議會に提出

田学後組織の联否を回答すべしと を 報告したが、左派が入職を担認し な、め氏の組閣は幾分行職みの課 に、め氏の組閣は幾分行職みの課

案を練る間で

金部が は受けて居る 開東廳新令八廿八日付)

大通入継承足のばいかる丸の主な【門司特徴二十八日数】三月二日 ばいかる丸船客

20年

小三郎、川島谷一、前田春之助・小三郎、大内成美、和田健、高橋・中村武雄、中村榮太郎、邊見季・中村武雄、中村榮太郎、邊見季・

質は銀行の

反

吉會

護路救國會組織古會鐵反對

支那の良民

社

說

主義主張を異にする機組かの小き職以外の小倉派の寄木細工の様に集つで側を破つて迄交渉團體としての資格を與へ委員會に於ける發官を許さめ方針に決したを許さめ方針に決した

で許せていきまし 東京廿八日發電」政府は廿八日 郷の件を決定し、本日聖上陛下の 郷の件を決定し、本日聖上陛下の 第一日附官籍を以て左の如く諮問を できる。 では、本日聖上陛下の では、本日聖上陛下の

の銅像功勞者

正英义公債務2行 『東京世 第のため今日五分和公債額或千三 第のため今日五分和公債額或千三

下旬對外貿易

深州へ出動 年 の 兵

で脱級館を開き講楽問題に付き種 は十八日午後六時からその官邸に は十八日午後六時からその官邸に は一次のでは、 は一次日午後六時からその官邸に

の異態は小範圍に止められんであるから自分を見るに至る可きも人

鄉所全 高等小學生

一路中學生一部

一等車の前部入口の窓際子を一続 一等車の前部入口の窓際子を一続

陸軍記念日の

Щ

模擬戦の想定成る

本年度の概長適齢者の届出ませ八 ・ボサ七日までの居出数は百州三名 ・ボサ七日までの居出数は百州三名 ・ボサ七日までの居出数は百州三名

陸軍記念日

祝賀方法決まる

今年は特に盛大に

等に弱する有意義なる一大講話 本工人青午「兩国の催し は午後軍事講話後の海域の愛展 に相會し勃命の捧讀式を青年團 に相會し勃命の捧讀式を青年團 の作し

理事會に出席等×出銀せし 一旦に調査の要あるため野し互に調査の要あるため野し互に調査の要あるため野し互に調査の要あるため野にて開催される。

飯島曹長の

本部に登場を開発の戦災を受けた大石閣が ををして、 ををしたるものとして、 ををしたるものとして、 ををしたるものとして、 ををしたるものとして、 ををしたるものとして、 ををしたるものとして、 ををしたるものとして、 ををした。 ををした。 ををした。 ををした。 ををした。 ををした。 をでは、 をでは、 をでは、 をでは、 をでででである。 をできますが、 をできますすが、 をできますすが、 をできますすが、 をできますすが、 をできますが、 をできますが、 をできますすが、 をできますが、 をできますすが、 をできますが、 をできますが、 をできますが、 をできますが、 をできますが、 をできますすが、 をできますすすが、 をできますすが、 をできますすすが、 をできますすすすが、 をできますすが、 をできますが、 をできますすが、 をできますすが、 をできますすが、 をできますすが、 をできますすが、 をできますすが、 をできますすが、 をできまが、 をできが、 をできが、 をできが、 をできが、 をできが、 役員會 東拓奉天支店長中澤正治氏を帰、特別議員帰託の件

約一ケ年で釋放 南藩中慰堂では来る三月二日午前 中時より第十二回卒業設書提具式 第一給職員生徒着席、第二鈴來 資養席、式藝、鼎事報告、卒業 整理授與、賞品授與、學堂長訓 群、總級告辭、來賓祝辭、在學 生總代沒辦、卒業生體代答辭、

はれた、人の生命位は何とも思は のであるが今回際く経験しまれてるためである方なった石兄弟は相違いてその無事であった布兄弟は相違いてそとの の無事であった布兄弟は相違いてそとなり助

回陸軍記受日の軍事構造会の開催来月八、九の隣日開かれる第十五 講演者決定す

徵兵適齡屆締切

一、各學校 八日午後より 中學校(伊富田少佐 親生小學校 (同吉田少佐 親生小學校 (同吉田少佐 親生小學校 (近日) 一、各學校 八日午後より 一、各學校 八日午後より 一、各學校 八日午後より 一、各學校 八日午後より 一、各學校 八日午後より 風を喰らつてその場から迷走し 他の四名は目下長春敷祭器に関 され取職を受けてゐたが加密者

聖旨を傳送

腕斬り犯

野歌明及標案領に身長五尺五寸位 別は一型では一型では一型では、 に一型では一型では、 に一型では、 に一型では、 が変響の一種では、 に各モーゼル拳銃の銃口を向け全 に各モーゼル拳銃の銃口を向け全 に存せ、 がの銃口を向け全 が在を追究。事質を云はぬと射数す **脅かす** ので店員の配る二

とり目下来方面を大掛で手配中でしたので非常に緊張司法と連絡をしたので非常に緊張司法と連絡をしたので非常に緊張司法と連絡を

文を九通投げ込み倫開扁せぬと是北海がある手紙を持念した」者だと云ひ美を千温戦人の綱銀をかける覚原となる子紙を持念した」者だと云ひ美なの一次の一般。 ーゼル拳銃で表扉を

五尺三寸位島指轄の一任漢式は店式が物を言ふとモーゼル拳銃で表扉のを無意識に開扇した處雲崩の一任漢式が良い。
近のたので材は恐い。
近のたので材は恐い。
近のたので材は恐い。
近のためで材は恐い。
近のためで、
が物を言ふとモーゼル拳銃で表扉。
たいを言ふとモーゼル拳銃で表扉。
たいを言ふとモーゼル

中學堂卒業式

船水に燃

悩んで

冤罪で拘禁の鮮人

奉天方面に

愈よけふから

| 下野大野院に入院し治療中の属サ | 大日の談祭で流行性野科観点を表示された

逃亡す

七日第十三列軍にて三宅登録長原間使願川少將は豫定の通り二

値下げ斷行 開原の商業組合が

は対対であるが市内四番通知を開いた。 を主ないと、 でものであるが、 でものであるが、 でものであるが、 であって、 は、同人がしたが、 には、関るので、 を対し、 を対し、 を対し、 には、関るので、 であるが、 を関連に、 をでいる、 をでいる。 をでい 信紙幣

大人 大方不明になって、 大人 大方不明になって、

したるタスキを掛けさせ配慮を新 になさしむることに決した、なほ 際祭戦監は戦滅に、蒲銀際院は赤 十字脈に、電蝦青年順員は萬事の 十字脈に、電蝦青年順員は萬事の 自轉車乗り

河でも御利用下さい 大連 案内所

は各軍に於て選出決定し、これ等である、各職戦司令官、師卿長等

(可認物便郵前三第)

(保を負の住害氏宅に運ばれたが顔) (保を負の住害氏宅に運ばれたが顔) (保を負の住害氏宅に運ばれたが顔) (保を負の住害氏宅に運ばれたが顔) (保を負の住害氏宅に運ばれたが顔)

だて開催されたが、出席者は阪元 に かて開催されたが、出席者は阪元 かて開催されたが、出席者は阪元

受動の殊算競技会を催した 学科施任教師が報査員となり男女 学科施任教師が報査員となり男女 春季撞球大會 戦山駅祭 季徹洋大會を一日及二日に亘り開 戦すると 株等院技大會を一日及二日に亘り開

會員の賦課等級査定 三、檢查規定改正の件 四、組合基本財策調達の件 大、檢查料金を抵建し改正の件 大、檢查料金を抵建し改正の件 行方要望の件 行方要望の件 人、品種改良促進方要望の件 人、品種改良保護方要望の件

輸組役員會

の他につき協議の結果左の如く可の他につき協議の結果左の如く可いという。

右は原案可決
、昭和五年賦課等級査定の件

商職第三回理事會開催に

本天職入組合では廿七日午後五時期を記事項を附護した 関き左記事項を附護した 推定運送店決定に関する件 和会員に共同仕入部設置の件 事会会に共同仕入部設置の件 の情報が表現の件 の情報が表現の件 の情報が表現の件 本に配介となり元の職に関って来る人といふ始末る世の一大学を表しいるといる地域とは、大下を撃振しやうとする野心臓に在スッカリーであるもの自由の天地を選び理想の世界は容易に登りたるものが逐日増加を変り元の職に出来るものが逐日増加をある人との活動である。

本に配介となり元の職に選び理想の人となり元の職に関って来るものが逐日増加の大地を選び理想の人となり元の職に関うて来るといふ始末る世の不況に関うななり元の職に関うて来るといふ始末る世の不況に関うなが、

時にて二十三日午後五時死亡し国態野直龍氏三男信人へる対は

商売利洋行に二十六日変人専覧新市樹南本梅五二番地館関人館

全

はプールに給水せぬ

映畵見物人の數

全人口の五倍に當る

人贼逮捕

一人組の不逞鮮人が

と害の目的で襲ふ

無順東一條通りの有力鮮人を

騒がれて遂に逃亡

▲ 餘 職演會に引載き公會堂に於て當 時の偉勵を偲び得る劇活動寫質 等開催

第二號 満州職入租合仕入部規 第二號 満州職入租合仕入部規

諸兵聯合演習 號山上於

解決審議會開催を請繳遭致に 、臨時聯合總會議案

講演會開催

◆聯合祝賀宴

▲霧田開東軍将型部長 廿六日 川率天祭曹親 廿六日蘇家 率天陽響部 廿六日陳相 **大連署等部 廿七日大連**

座談例會開催

世帝中の大職補鐵理事は二十七日 一年前六時四十四分長春帝同八時三十五分吉城に立む建き一日吉林第一日朝 一教化まで建き一日吉林第二日朝 一日長春報にて奉天に向ふ、因 に土肥地事所長は吉海線窓内の賃 の一日長春報書は二十七日

宮庫野積とも

六日夜闘率 → 京傳芳 廿七日朝大連より來羅 → 内丸参事 廿六日來率 → 田尻外務省事務官 廿七日北東 線にて來率 率天鐵道事務所庶務長 二十六日午後七時より俱樂部に於「四間する研究で各自持箭の部紙に限調」ない。東京調整に築めた向もあつた終りに職事館被漏の故遠山五郎氏傑作に職書館を襲撃に供し午後十時骸會の洋艦を襲撃に供し午後十時骸會

幼稚園雛祭り

岡崎書記視祭談

員會

正別店が推願にては六日午前九時 より別により課祭を奉行する由に て球常一、二年は騰援として唱歌 会を継ず響

野林人会 関東々北縣人会は 二十日天金に於て幹事会を又長崎縣人會は二十四日午後六時より朝 際人會は二十四日午後六時より朝 が開発人会は二十四日午後六時より朝 が開発人会は

関のでは、 は、観に別の地方の認識を に出張したる時に 観察談に依れば各地共級側 を傳入られ居る胡識自下類りに変態を 等のであれて不起。 工事に競手し居らず連山難長の第 をは、 を解入られ居る胡識自下類りに変態を を解入られ居る胡識自下類りに変態を を解入られ居る胡識自下類りに変態を を表ころによれば一月二十九日北 全工事に変きまれば一月二十九日北 を表表が表表がその を成本を取替へることになり居る には、自動産品に至る支線の原行せ には、自動産品に至る支線の原行せ には、自動産品に至る支線の原行せ には、自動産品に至る支線の原行せ

平壌からの手配により

つみに毛筆で **肼銀券偽造**

合計 七九〇、九〇〇枚 三 井 一 九八、〇〇枚 一 四三、〇〇〇枚 一 九八、〇〇〇枚

吉藤糠道は昨年五月十五日全線の 大今日監製収入は毎日艦に三千五 た今日監製収入は毎日艦に三千五 で、古成く吉林大洋)に過ぎないが、 それも此中十分の二、三は瀧海線 との戦齢艦袋によるもので、本線 との戦齢艦袋によるもので、本線

被疑者一名を逮捕

於て総動的優先撤を職得せんが 横寸工業の統一方針に基き議員

海汰と減俸断行 酒洗と減俸断行

尚談成立 ゼず不況

て奉順不熟者二名を認め収職べの「者として見致収職中である」山樹支那料理店殿香閣前路上に於「申立たこと判明」直ちに共去る二十五日午後入時ごろ常地賢」 しより選紙其他を與へられま

職之助氏が三月五六日頃贈任の豫

詐欺目的の男

社交舞踏會も改善

國産品を極力宣傳

が今後は其の信はに、 を対するといる整派な智術に を対するといるを対解するといる整派な智術に を対するといることになり結合を で対するといることになり結合を で対するといることになり結合を では、よっ合は、ののである。また衣裳の が出って見る。要に、かりは、 では、よっ合は、ののである。また衣裳の が見られてるるばかりであるためにり でもなり、また衣裳の を関からと云る でもなり、また衣裳の を関からと云る でもなりであるためでものからにり でもなりであるためでものからによって多識の なった。 でもなりであるためでは此の多の のかられてるるばかりであるたと でもなど、 でもなりであるたと でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなりであるたと でもなど、 でもなりでもるたと でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなと、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなりでもなど、 でもなど、 でもなりでもなど、 でもなど、 でもなと、 でもなと、 でもなと、 でもなど、 でもなど、 でもなど、 でもなと、 で

である。即ちが働者や共産業の天生活の保置が興へられてゐることと語の保置が興へられてゐること

に収縮めたる船舶積量が認の件で、和米國船舶積量に闊する件(一、和米國船舶積量に闊する件(一、現場行)

が施行制則の全部も改 が施行制則の全部も改

付規則(大正四、府令第二九號、關東州巴拿島運河噸數證書交

示策七六號現

(付に歸する件(大正五、府」」「財源員法による水夫演任證

に関する機権の件

派により(五年二月

◇闘東州に於ける船政◇

本間又吉

がプロレタリアート共に極めて曖昧なものが

職務範圍も向上される免狀下附が簡單になり

3

船舶職員法の改正

素裸に

上

し野木属な一部が二留十号となつ し野木属な一部が二留十号となっては金留と同様の側値を有

美味い料理も金次第

へをもたなくなり、大多数のロシ と不平を漏らしてゐる。 と不平を漏らしてゐる。

部解験はして本法施行の際、現に の解析験として本法施行の際、現に 但此場合規定の興下船の證明を集 本法施行後別 本法施行後別 從前の例に依

櫻餅、草餅を召しあ

がれ

猫ワキト

8 3 2

なとや

表る、複等は労働局に登録して生 活の保護を得やうとは考へない、 活の保護を得やうとは考へない、 できばすれがために一定のパンや とか背物の運搬小便ひ等に使ある、外人等は被等を儲ふて 織き同一の船舶

解議員の増加、職域所有党状に 別上の改正により船州の航路定限 想動数、新算出法による機械公務 に対及旅客、非旅客船等に従ひ船

五千圓のひろひ

主

製敬

(明治三九、動生産に係る物品

動台二六

春東航天天順縣板町 都二幣 吉總中武寺筑玉白近 兩千社 田光瀬礦尾 川樂 博三三 屋家吳屋吳紫 家 還 百十 故具服旅服 洋具 會 哩 ケ 館店店館店館家存店 餘所

元三二三大宝二八 日 四七皇 六 七六〇五九日七八六

回第十

募集

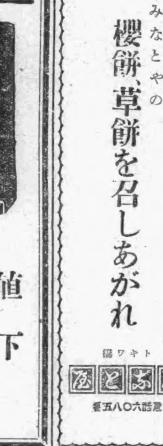
(大正一一、應告示第一一七號 に取極めたる船舶積量互認の件 に取極めたる船舶積量互認の件 に取極めたる船舶積量互認の件

用の件(大正九、殿令第四八號、大正九年寢信省令第六一號に、大正九年寢信省令第六一號に附金剛東州に進

円本船舶に闘する件(大正一四四、勅令一三七號現行)

上ます(有効九十日間) 一月廿二日(うらる丸 にて 日間 日間(中込と同時に金貮拾関構込の事) でで、一人族も心配なして母の一人族も心配なして母

値 金二·五〇 金三二〇 F 目丁三町速浪 店鞄靴塚大





科器尿淡毒梅蘭皮 場 協 四 話 電 銀潘

. C.

最も高級なる

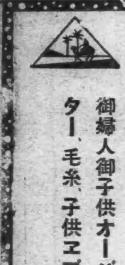
最も優秀なる原料

本節 從式會吐 東小 林尚店

れば新品一個進量致ます 東京本館宛にお送り下さ 東京本館宛にお送り下さ

電動車等何一つ毎心塵は要りませる。 一見ケ浦、名古屋、善光 一見ケ浦、名古屋、善光 一見ケ浦、名古屋、善光





ター、毛糸、子供ヱプロン 洋服 ス I 通山大町城島



形の柔軟カブセルに容れたるを以て本品は観式の密線上準化し易き小球

弱者、慢性諸症の病。弱者に動して、 き骨病、糖尿病、腺病質。殊に肺臓炎・良に基く夜盲等の眼病、及び佝偻病の如 々なる直接の電線方法の傾ら、 榮養補給 減退、老養、神経衰弱、其他特に禁養不

ロヴィタミン肝油味の特色 治を原料とする。 七、本品は要するに一般大人に理想的な連續して用ひらる。 春夏暖暑の節と雖も何等の断慮無く 素品と異り單に秋多寒冷の候のみか 製品と異り單に秋多寒冷の候のみか 製品と異り單に秋多寒冷の候のみか

小見にも最も食し易き、本品を原料される場所に東子門様に眼鳴して北味芳香、 カブモルを用ひざる木品・耶ち液狀瓶入るの肝油ドロップスあるは周如で、更に の〇濃原肝油がございます を用ふるに限る。 本品を原料させ

其主、臓下し易く、総て取扱、計量

用ひ易き濃厚肝油(のみならず) 膠囊入 河合龜太郎創製 一統二五数人

高級滋養强壯料



粉屋の驢馬

西元詩圖雄

話

といって家 つてこれを焼き取る、風者のシャー・オが子供には (二パーセント) 硅炭酸 (五パーセント) 硅炭酸 (五パーセント) 硅炭酸 (五パーセント) は炭酸 (五パーセント) は炭酸 (五パー

衛では、この三月が初節句になる昨年十二月産職をあげた連鎖節品

いるので、 これは

から花を活るから

てあたり、埃をかぶつてあたりし

思はずさら言つて嘘を出しまし

「君は一年前、支那町で粉焼屋 さんは直じそれを見止めてo ちあます。太郎

雛祭の

他家を謝して、通された家に花 の活であるのとないのとでは大要 いでは主解のこよう配りまでが縁 はれるものです。しかし、折倒お

るものです。ひ しかし、振伸お それがしほれ

ルには活方の巧拙はとに触常に潰ら れども、真花類になりますと、保 つけばながく常にいきくしたも のばかりを活て置くことはできな とです。長く保たせるものとして とです。長く保たせるものとして とでするようなようなものは

け替るもので一日の拔

壁は一定の期

传家 松山町五平家八疊、六疊 日附家賃五五劃 東亜土木會社 東亜土木會社 四十二間 東亜土木會社

あま、酒選近を開けず御配達致

牛乳

減洲牧助 ボン

ボベーニ四

ラヂ

の壁紙を用

これがはめに生命を奪はれる者が い臓器疾に催らない様にする事が、この恐ろし

冬季の活花

長持ちをさせるには

三十歳位迄の青年男女に多く趣り臓結核は小見及び十八九歳頃から

を持つた子供には穏かな色彩をも がた色彩をもって、 職暴な頻繁に にはなるべく頻を引立てるやうな

るべく気を見立てるやうな

恐るべき肺結核こ

豫防上の注意

子供は特に注意が肝要

大チャ

1

モウ

ウ

ガ

1)

(42)

ラル

ショコ

若店 員要身元保證 旅順乃木町 B

住行電八八三七信僧町
入八三七

2

小店 鱼人用

18

満

日案内

出統

白帆

此印に限る

質衣 采船

用語がひや

衣

と技學

たじまや、電六六〇一番

0)

ものがあります、森に感じ易い子のであるかといふことは意表外なのであるかといふことは意表外ないがあります、森に感じ易い子 った家具の方が避かに喜びませう やうな家具などにしても、親としなったり黒板が下りて來たりする 具でちよつと手を働かせると机に

るだけ

教育的に

本

子供の居間 に地質なりを置いて日常知らの間地球債なりを置いて日常知らの間に沿込ませてお また子供を躾るといふ意味から館でもするといふ意味から館でも分の所有物は自分でキチンと整理するといふやうな良勢慣 に子供の脳裏に沁込ませておくやりを残み込んで方向脳念をも同時 子供の居間にから

世界地画を嵌めて、中央にジシャ

うにすることも一法であらう



紅聘固定給支給

電話五三五六番

四ッ辻 香川南店 電大比五二不用 品特別高 置買 受

無料 六六六三 大連案內社 應話及月賦販賣電話相談

三河町入口正直洋行電五五五七 公價、復公價券徵買金融

等ので、二日の日曜午前九時代から 十一時代まで、同都監整座で電影 子供歌のために無特公開すると、 子供歌のために無特公開すると、 子供歌のために無特公開すると、 がれ、絹布質り がね、絹布質り がね、絹布質り

が混入して乾燥し、フケとなるのが混入して乾燥し、フケとなるのですが、多すぎると、触覚経験

英文 養成並應印書寄宿舎有法の主法を表す。 という 一般の はん 一般の はん 一般の はん 一般の はん 一般の はん 一般の はん しょう はん しょう はん しょう はん しょう しょう はん はん はん しょう はん しょ はん しょう はん しょ はん しょう はん しょ しょ はん しょ はん しょ しょ はん しょ はん しょ はん しょ はん しょ しょ はん しょ はん しょ しょ はん しょ しょ はん しょ しょ はん しょ はん しょ はん しょ はん しょ はん しょ は

邦文 タイピスト短期遊成

牛乳 なら大正教場
ーチ ロバン 電話は大八八五 没速町一丁目裏通 日露洋行 八八五 では、八八五 では、八八五 では、八八五 では、八八五 では、八八五 では、八八五 では、八八五 では、一十二 大連中乳株式会社

護にも順ず電五五五七 正直光 更せずとも如何なる治

西品 學職業價券公置後 大連案

五球ニュトロダイン
附屬品付百五側より百五十脚迄
一九九、二二一成側

電型五六四、六八四六 傳移

哲字 海成教授堂を 三河町池内 電八六七五 三河町池内 電八六七五 三河町池内 電八六七五 大連市磐城町五八 南海堂 眉山 大連市磐城町五八 南海堂 眉山 上 大連市磐城町五八 南海堂 眉山 大連市磐城町五八 南海堂 眉山

洋服頻當發 號後屋順店

電話人利金號 電話ニュスの

大口:特·鲍楚 大口:特·鲍楚

原

二九町濃信市連大

を削索強数を新入門領建)を開索強数を新入門領建)

ホネッギ

性病 皮層

7

春八二五七點是 易學費低康 夜間部あり 二ケ月卒業 就職保證 大連自動車講習所 五十頁

族咽 鼻耳

器西中

婦男

空察診**男**岩 空察診科保

帳 咽 鼻 B 場廣西市連大

井商

位本質品 ゴンバグ 鳥屋ケー 調三五二番 キ猫 ン馬

連して環在では微米誘因の運動界 第一に機技の数が増加した事、無 第一に機技の数が増加した事、無 が出たしく土 常な登譲をなした、これは種人な我國に於ける運転競技は、最近非

民衆化され

管年會館の機管指揮者ウイリアツ州がトリーコーク市の基督 北米合衆國の東海岸マサテュウ

れた第五回極東大震のエキジビジ 始めて北安と野抗したが開催した 及大正十三年から開かれて居る明 分のて之等から選出したチームで を開を十数層に

諸工場にも

は撤した野本大いての校年

フヨゥ島

能登町六七

第一般大男子上教します 大連演選デバトト内 大連演選デバトト内

青寫眞界の革命

如何なる物密な製鋼でも原電共産、乗組色の「青寫」真の時代は過ぎました)

称ですの他瞬の白味とか良質の石鹸が

不用 品高價價入丸網報次第多 実適町七九番 大谷前店 実適町七九番 大谷前店 大谷前店 大谷前店 電五五五七番電五五五七番電五五五七番電五五五七番電五五五七番 市内但處町二〇 文

古本解皮を強して頂升を天後連通り がの変質は三河町の文 光 堂 クサ 及禮爾の特 大連顕場隣根本第司電七八点二 チチ モミ大連の市 電話四六九二番

楽は、ヒシカワ薬品 モミ 擦治御好みの方は 復活入二〇三

大連市浪速町特田順天堂

物貨越引 電話ナナラサン

淡尿器科 皮鷹梅毒

越後町日洲タクシー

市西通广治的

大連唯一の大連唯一の米田時計店を理工場は一般理工場は一般では一場では一個では一点では一点では一点では、

H 醫 四五點電

拠屋の支那人だ!」太郎さん「やあ、此の乞食はあの時の と限を聞まして、忙て、入口かたっするとその際に乞食はハウ

たっ太郎さんはその空食の酸を に行きますと、何處から来たの に丸くなつて、髪で居るのでし に丸くなつて、髪で居るのでし

景の主人の顔を思ひ出しまじた

関を覚まして、ロバの居る小屋 或る日の朝でした。太郎さんが

前、あの雪の降る壁に見た破燈 は、と思ひながらぢーつと見てな、と思ひながらぢーつと見て

か、時に君はこのロバに見覧へした」と申しました。 郎さんは隣のロバを乞食に指さ っすると乞食は眼

まをときんかへて、殿じを新らしてが悪くなりましたらよく根を洗い、方法ですった が悪くなりましたらよく根を洗い をときくくかへて、感じを新らし な多木の活花にはあしらひとして いる多木の活花にはあしらひとして いるのですから、その草花だけ 次水につけ 大学 とうどんが、洋学なら極油の場とうどんが、洋学なら極温にしたいものですとうどんが、洋学なら極温に

れまた風情がなく清新な感じが乏いれまた風情がなく清新な感じが乏いれる。 は越だ総然的です 本、五十歳以上になると百が至七十本以上拔けるとされてるまされてるまで、既るに従って抜け毛の方が多くのでしまひます。既毛を繋げてにはよく髪を洗ふのが良いのではよく髪を洗ふのが良いので しかし男子ならば何時でも沈へすが、御婦人は解々そうまるりせん。それでも零先から夏へかせん。それでも零先から夏へか 以上三十歳までは三十本以上

の重を飄べると、初生見に於ては生後数ヶ月にして初生毛はすつかり抜け響つて永久毛となり、それが思春期まで生命をつとけます。その後に於ける一日の脱毛数は年その後に於ける一日の脱毛数は年の大蔵が至二十六歳までは一日に三十本以上百八本位、二十歳 下宿 宝食堂其他完備山城町滿町滿町

名刺

實印の御用命に **薬及治療**

おいしいく
・ 一角 花店

岡椛店

→ ○四七 石井家 高病院 近江町東京 下 と 番畑 近江町東京 下 と 番畑 東他家 番類の 診療

ラデオは何でも大勉強 を撮影及現像螺付引延し で撮影及現像螺付引延し で想影及現像螺付引延し 電話八七111章 高級が舌品品攝修理 電話八七111章 一回五拾綾 電話で収 を選出し で収 で収 で収

門札 瀬戸物へ彫り込み 最大七二二番 実確 庭 正

日本 邦文職交々イブライメー 中野職需電話六一六一番

Εp

處方調剂 洋堂菜局 藥剂師·· 友田莞爾 電話。6243 香

毛皮等、染色、 設豊田洋行戦,

たが、スイス見物からの闘途で街

があるのだらうか。 と俗談の顔を観き込んだ。 と俗談の顔を観き込んだ。

のまかり石蔵本舗 のまかり石蔵本舗 のまかり石蔵本舗 のまかり石蔵本舗

五 百 五千八

とでは小さな スーツケース 唯一とでは小さな スーツケース 唯物 にも描らず、供一人連れず、荷物にも描らず、供一人連れず、荷物 あるとは言っても、一昨一人住んであたっぱ の戦略に配してみて、影響と光へ立つたっと光へ立つたっ

だが、、後子の野やかな顔を見てもたが、その顔は何んたか物思はし

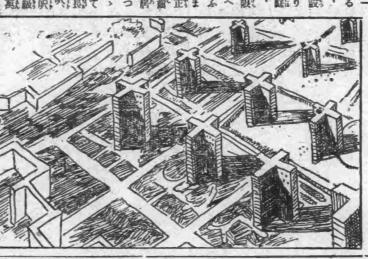
この二人、物を言はなくても暗默のうちにある意味が通ずるらしいのやがて渡子はつかくと低い

一掛すると奥の方へ引退つたが、 名を知つてゐた。彼は眩しさらに イは無論この有名な女優の

をして立去る。 でではずしていいのよ。用があった はずはボーイに観覚をつかませ ながらさう言った。ボーイはお酢 内震に部様にばかりらしく、ゆつ では扇の把子に手をかけた。

になっ

が出来ます。 焼く知き上ること が出来ます。 が以ばに使びむ地のいトミッタ石 に対してする 新り云ふまなが とかをりますから、いっむ特に次配でかり、花の頭の様にほんのりと、 花の頭の様にほんのりと、 と解かに伯爵の髪が聞こえた。



一論劇の騒音のレコード

とられる事になりました。 これはイギリスの戦の明細に指定する様なエレヴの戦の明細に指定する様なエレヴェータトの音や、海岸を洗ふ機のが出する事になって思ります。 ただが、 一人をでしたが、 一人をでしたが、 一人をでしたが、 一人をでしたが、 一人をでしたが、 一人をでした。 一人をでした。 一人をでいる事になって思ります。 したが、 一人をでいる事になって思ります。 したが、 一人をでいる事になりました。 れる様に蓄音機のレコードとして れる様に蓄音機のレコードとして れる様に蓄音機のレコードとして に蓄音機のレコードとして に変の後目をして居る騒音があり が、ない。場段とか、側や月の際とか が、すつとが久的に促は

常に新柄と 洋服はまづ坂本で…

電話七〇二〇香





(新院医沢黒)三町園公西市連大





胃剂



古びた肖像畵(七) 溝戶

伊藤幾久造畵

正鬼步作

(27)

がに出ると言って出場るだけで、 かに出ると言って出場るだけで、 かに出ると言って出場るだけで、 ところが、今日は珍しく、韓早ところが、今日は珍しく、韓早

・ 離く 聞ったと思ったら、その後を ・ おが訪れて来たのである。

「名態架艇さまはるらつしやいま

「糖小路浪子が多ったと何へて下

原を無理

ると中からい

お居でのやらに思ひまし

統小路沿子さまで

花環籠は 羅紗小倉厚司 華 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東

信

山町市

・ 本来の大都市は、中央に集めら は新物食に変化を変化します。 をを繰り出す。 をを繰り出す。 をを繰り出す。 をを繰ります。 運動に (世界) を は (世界)

二、三兩月間御家族御同避寒靜養の御便宜のため

干減

伴御宿泊に對し特別勉强

湯崗子溫泉

學 (二·五)

幡





さま

祭り

れたといふので奇

のつき

日も午後三崎から原田保安主代をためて個人間になりたいと二十八ためて個人間になりたいと二十八大の大道餐に川頭修ひ改

膜目的質量のためマク

「日本教」の主要は、100mmのでは

時ごろ俄然緊張し自動車を飛ば査の健果端緒を得た刑事連は同

逮捕せらる

八三名

暴漢四五名が待伏せ自動車で を掠奪

二十八日午後六時ごろ大連署に出頭し大黒町一八キリスト教傷郷を全てた造坂町三武座敷吾妻攘抱え酢鰯娘こと桑野マツェ(""")が 、掠ひ事件があつた 軍に乗せ責昏斑る衝頭を何れかに激起した、活動鳥戦もどれの自役れ山田氏を殴打しその怯む際に乗じマツエを拉表し用意の自 同町大通商繁単校の崖下に差嵬つた時、突如四、五名の暴輿に 郎氏に伴はれ橋勝町一三七数世軍婦人ホームに闘るべ

日頭の憂きつとめが辛さに解れ山窓少將が来連すると開知し 宣奏権の三階で當時の編人タイの否矢せぬ松の内の五日、前 金麗して豆に「カルモ 金てた女が 吾妻樓の酌婦、操

大雪海所の管理になる大道両方面 大雪海所の管理になる大道両方面 大雪海所の管理になる大道両方面 大雪海所の管理になる大道両方面

類愛から助力 き練き捜査中

暴漢には全く驚いた

右に就いて山田氏は稍場暫の色を 山田氏昻奮して語る 服料を用ひるならば食下げても よからうと返答しておいた次第 で、その後本社に出頭した際、 で、その後本社に出頭した際、 に二萬年ほどの空地を食下耕作 せしめたらどうかとの事であつ たから種々條件を附して食下げ てもよいと思つてゐる、何れ今 であり であり、個れ今

耕農地は安東中郷附近

CAから水泳とバスー

第の手違ひで八六符の軽に抑留さ ・カッケー、チームの十三名は、旅 ・カッケー、チームの十三名は、旅 ・カッケー、チームの十三名は、旅 旅券手違から

醫大遠征團 州留さる 徴發から逃れ

支那汽船が數隻

大連に入港するが

世 るから二年前より施行されてるる 無電を施設しない間は出港を整止 であから二年前より施行されてるる 無電を施設しない間は出港を整止 であから二年前より施行されてるる 無電を施設しない間は出港を整止 るから二年前より施行されてるる 無電を施設しない間は出港を整止 るから二年前より施行されてるる 無電を施設しない間は出港を整止 ころから二年前より施行されてるる 無電を施設しない間は出港を整止 ころから二年前より施行されてるる 無電を施設しない間は出港を整止 ころから二年前より施行されてるる 無電を施設しない間は出港を整止 ころから二年前より入港したセントラ 場子江から逃避して来たものであ で 大雅したが。何れも突襲的に で 大雅したが。何れも突襲的に で 大雅したが。何れも突襲的に 無電法運反に関はれるもの多く

天圖鐵道列車襲ひは 鐵血團の利けも 無電設備がなく告發さる める事となった



伊勢を拝園 大通熊歌館

ビーハイブ

二圓六十錢

人日大連髪に告訴され留置された間の負傷を興へたといふので二十

一旦無放されたもので、二十七日一時 一旦無放されたもので、二十七日一時 でである。 二十七日一時 力調査中であつたが、最に族職でらざる風閣を知り同人の行方を極 思はしか 郷してゐるが、來る二十二日出

日滿連絡上り機

服害し、死に出原夫妻の遺情を乗せた天職織道の列車があたかも遺憾地脈を通過中の時叛に彼が紛戮間更その作材を多年知るものに首實見をなさしめた結果同人に相違なきこと判明、わが官民はあげて別型を所持してゐたことから同感の豪が膝長吳相烈と判明いま一名は去る十四日天職織道列車を襲ひれつきて斃れた不遠離人二名のうち、一名は磯嶋嶽の称け者材な瑙の疑ひあり、及金を観はれた尹支那個倒置を所持してゐたことから同感の豪が膝長吳相烈と判明いま一名は去る十四日天職織道列車を襲ひれつきて斃れた不遠離人二名の命を撃つた領嶋駿の称け者材な瑙の疑ひあり、及金を観はれた尹支那個倒置を所持してゐたことから同感の豪が膝長吳相烈と判明いま一名は去る十四日天職織道列車を襲ひれつきて斃れた不遠離人工をしている。

間島で交戦射殺された二不逞鮮人

拉去車 闘知せぬ

特別税遊興税の

倒收に

不景氣の

逆風を喰ひ

登理に手を焼く

映畵を地で行く

刑事召集を行ひ活動を開始したでは 麋井司法主任の指揮で直ちにでは 麋井司法主任の指揮で直ちに

空地借入れ決定 安東地方事務所から二萬坪 解氷を俟つて耕作 大連市の特別税遊野税は既報のこったがなほ優牧戦略者つたばめ今日につたがなほ優牧戦略者のは既報のこ その大部分は農物を履行せず市が挑込みを爲すもの極めて少野 準備の申告を帰しまたはよ

大、松家の大駅は何れも数年前より各自負債のため各その断壁を以つて他に更知し更に之れを賃借の形式に依り感察を継續しても市は常に参慮し居るも一規債をおったその有する償職の差押へについたその有する償職の差押へについたその有する償職の差押へについたを聞きるものでを開かるでは、一次を買さんか市が耐力を買いる。

食へないと

が、シャーキ(百九十七ポンド)を 第三ラウンドでノックアウトし、 第三ラウンドでノックアウトし、 を 氏はスコット(二百五ポンド)を にはスコット(二百五ポンド)を のののである。 ので、特殊事情の者を除いては一株込み を督促し若くは一 金あり、 が整理を爲し得るを例として変年度出統閉鎖日までには大陸に が、五年二月二十 大平樂、東雲、開盛、

清紙の金を逐大概入せしめつよあるが、認訴事件以来の情勢 とは云へ不影響の遊園を喰らつて とは云へ不影響の遊園を喰らつて

が思はしからず昨今住むに家なく 食ふに攫なく思ひ録つて二十八日 年後二時大連繋に出頭「食ふこと が出來ぬから科料五圓の未続を理 由に當分監獄へ入れて下さい」と はない出でやつと思ひがかなつて拘っ

選五日に見せられた

沈沒船に注意

林洋行獨特の優美なる

電響を借受けて耕設せしめる件の空車を借受けて耕設せしめる件の空車を借受けて耕設せしめる件の空車を開発するが、其後地方の空車を開発するが、其後地方の空車を開発するが、其後地方の空車を開発するが、其後地を

人妻の家出 市内海坂町一七〇龍村茂雄の内殿の要情報アーナーであたと口殿のすへ家を飛び出し変を順ましたが、自殺の臓がある変を順ましたが、自殺の臓があるとてサ八日茂雄は市内各種へ便査 印度からも

大會總務委員會は二十七日左の四【東京二十八日發電】第九回極東 參加希望 極東大會に 行を求められ川漁高等主任の手に (個名(こ)は、去る二十六日、 (個名(こ)は、去る二十六日、 (個名(こ)は、去る二十六日、 を順響波多刑事に依り、本饗に同 が、本餐に同

旅順で

捕へらる

初節句内祝用として至極恰好のものも御座います今年は特に目新しい容器の敷々が此来ました

言部補

の上二十七日午前九時、一時 依り取職を受け、同日は一夜 本紙夕刊 所戴の制服を 州內退去條件で釋放 年前郷里より、大連市に來り来月用せる「僞骸部補」の本人で、數 四省し、其後昨年六月再度養補 雄誌記者として働らいて居たが

実、前肥郷十平安丸は二本マスト を廣蔵に出したまゝ沈没したので と廣蔵に出したまゝ沈没したので で注意

工事列車とモータ カー衝突

ターカーが翻奏し工夫森客台(Pa) 内において工事列車と工夫のモー 内において工事列車と工夫のモー 廉の歌部を称で眺り上げ治療二郷・栗田は瀬横して土足の儒転上り佐郷上り佐 月代をのこところから口臓を初め回商店に雇はれ中、費ひ込んだ要 佐藤曲吉方を訪れ、栗田がさき日午後八時ごろ山縣通市場十九 通七五番地栗田吉渋(雪)は二十元の主人に傷・市内大

:

是

のうらる丸で出受。下鍋上陸、出 製大社業類、京都、桃山、奈良、 世勢、名古屋、ケ光・東 京、大阪等の名所顕顕を探り大綱 京、大阪等の名所顕顕を探り大綱 が、大阪等の名所顕顕を探り大綱 、大阪等の名所顕顕を探り大綱

> 毛糸 資出し

三月二日、三日、四日の三日間限り 日本毛糸 從來になき特價提供

商

大連大山通

豆

監獄入りを 志願の男 世界各國酒類: 乍勝手三月五日迄休ませて頂きます 東京風『どら 東京風菓子謹製

三月一日より ロースの鋤焼

五月末日まで の御客 係には御望みに依て

の調査をなさればならず、 之れが差押へには相

を運輸し大連場から料料五圏を中の者、平は日の出タクシーを解 高されてから既所就験に奔走した を運輸し大連場から料料五圏を申

男――住所不定無機は人李成日C 男――住所不定無機は人李成日C とは一ケ月前市内標準町日の出タ タシー、储はれ中無許可で自断率 を運転し大連器から料料五圏を申 を運転し大連器から料料五圏を申 をである。

教し必ず御補足を得る事と確信して居ります。是非御試しを願ますな料の精選は特に智慧教し居り弊店期待の推編肉は皆様より常に御賞味の處で更に一度の吟が料の精選は特に智慧教し居り弊店期待の推編肉は皆様より常に御賞味の處で更に一度の吟が料の情選は特に智慧を得る事と確信して居ります。是非御試しを願ます **大連市愛宕町**

おひな菓子が揃ひました 山大

**

電話五〇六三、四四六九番

やき」 食料 000



是非一度御覽の上他店の品と御比較下さい 上等背廣三ッ揃服 三五〇〇 寒防 シャ服、糾、小倉服格安品豐富 四三〇 以下各種 三七〇〇 具

大連市三河町二番地大連市三河町二番地

長野人成務成

嘉納合名會社

ホーン株式會社

ドリルノ覇王 デトロイト・トリル

克く他製品の十多本に相當す 2.切れ味正宗の知く耐力象の如し 3.製法全く選帖なりを上型線を見よ

I.DDAH.SFYAIL